

学校教育目標

とみえの子「徳・未来・英気」

4月の振り返り…最高のスタート！

良かった点	気になる点
1. 4年間で最高のスタート (1) 全学年、子供達の意欲に満ちた笑顔 ①新しい出会いにわくわく ・笑顔であいさつ ②「目」に現れるチャレンジ意欲 (2) 当たり前前に掃除に取り組む姿 (3) 高学年の頑張り ①安心して見ていられる委員会活動 ・どの委員会も、頑張っている！ ②1年生のお世話（優しく・根気強く）等 2. 非認知能力の向上 (1) 高学年の「全学・県学」への取り組み方 (2) 落ち葉掃きに進んで取り組む子供たち	① 周囲のスタートダッシュに乗り遅れている子供がいる。 ※ 適応しようと本人なりに頑張っているが、そろそろ「ガス欠」にならないか…。 ※ 地道に頑張っている子供にも目を向けていこう。 ② トイレのスリッパ、下駄箱の靴に、子供たちの今の状態が現れている ③ 今こそ「学習規律」の徹底を！ ・姿勢の保持（腰骨を立てる） ・学習用具（短い鉛筆はNG） 等



わくわくする5月

※「おめでとう」「様子見」はもう終わり
 ※体制が整った。実態もつかんだ。これからがスタート！
 ※運動会に向けて、一致団結！

趣 旨	留 意 点
1. 「全学・県学採点」で見えてきた実態・課題を共有し、授業改善に努める。 (1) 非認知能力が向上すれば、学力も向上する。(杉野先生著書より) (2) 答えを教えるのではなく、解き方を身に付けさせ（知識・技能）、活用させる (3) 失敗させないようにするのではなく、失敗を自分で修正させる。	(1) 「学びに向かう力」は向上している。 (2) 課題改善に向けた取り組み例 ① 問題を読めていない →全教科で音読場面を必ず入れる →読書の質の向上 →暗唱チャレンジ ② 思考力・判断力・表現力（活用） →丁寧に教え過ぎない。お膳立てし過ぎない。 →単元の中で、どっぴりと自力解決する場面を設定し、まとめさせる。 等
2. 運動会で「頑張った良かった」という達成感を味わわせる (1) わくわく感をもたせる ①叱責よりもできているところを褒める ②「カッコいい自分」をイメージ	(1) メリハリの効いた練習 ①集中した練習（空白時間をつくらず、テンポ良く） ②適度な休憩 ③演技・競技だけでなく、入退場の指導もしっかり (2) 「見られている」という意識をもたせる ①自分たちの活動をメタ認知させる
3. 表現力を鍛える絶好の機会 (1) 運動会を通じた自分の変容 (2) 感謝の気持ち	(1) 言葉でしっかりと伝える ①作文 ②発表 (2) 感謝の気持ちを態度で示す
4. 不適応を見逃さない。見過ごさない。	(1) 不適応行動の背景に目を向けて、対応する。 ①子供たちに届く言葉かけを意識する。

意識を揃えて取り組もう

○ 早寝・早起き・朝ごはんをがんばろう

・午後9時～10時までには寝よう
 ・朝ごはんを食べて登校しよう